

# 普代道路の開通で、 交通量は半減、大型車は8割減少 ～「子供達も安心通学(通学路の安全性が向上)」～

東日本大震災からの復興に向けたリーディングプロジェクトとして三陸沿岸道路等の整備を進めています。  
平成25年10月13日に三陸沿岸道路「普代道路」(4.2km)が開通しました。  
このたび、開通直後の交通量と普代小学校先生の声について取りまとめましたのでお知らせします。

◎国道45号の交通が普代道路へ転換し、  
総交通量が約5割減少、大型車は約8割減少しました。

●国道45号の総交通量が約5割減少

	開通前(H25.10.2)	開通後(H25.10.17)	摘要
三陸沿岸道路「普代道路」	—	2,900台/日	
国道45号(現道)	4,300台/日	2,100台/日	<b>約5割減少</b>

●国道45号の大型車交通量が約8割減少

	開通前(H25.10.2)	開通後(H25.10.17)	摘要
三陸沿岸道路「普代道路」	—	620台/日	
国道45号(現道)	820台/日	190台/日	<b>約8割減少</b>

◎歩行者が安全に安心して歩けるようになりました。(ヒアリング調査より)

●これまでは、歩道脇を大型車が通過する際に危険を感じていたが、国道45号の大型車交通量がだいぶ減り、通学している児童が安全に安心して通学できるようになりました。

発表記者会：岩手県政記者クラブ、久慈報道機関各社、宮古記者クラブ、東北専門記者会

## 〈問い合わせ先〉

国土交通省 東北地方整備局 三陸国道事務所

電話番号 0193-62-1711(代表)

副 所 長 としま まもる 戸嶋 守 (内線204)

調査第一課長 なりた しんたろう 成田 信太郎 (内線451)

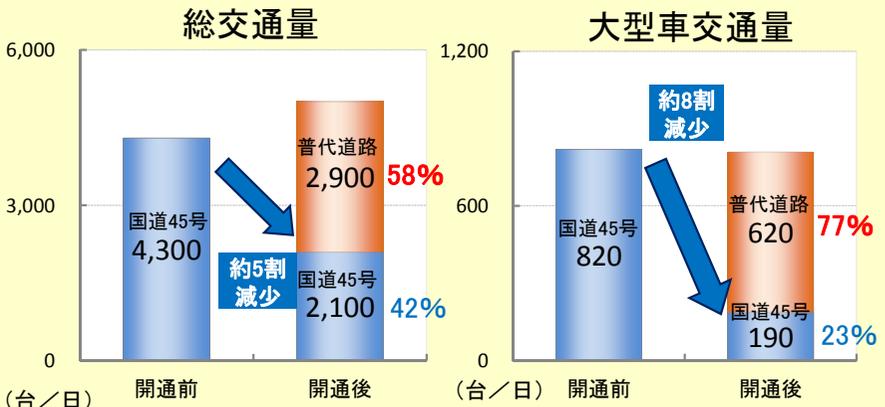
# 【開通後】三陸沿岸道路 普代道路が開通して

(平成25年10月13日開通)

- ① 国道45号の交通が半減、大型車は約8割減少
- ② 子供達も安心通学、通学路の安全性が向上



① 国道45号の交通が普代道路へ転換し、  
総交通量が約5割減少、大型車は約8割減少



▲ 国道45号と普代道路の交通量の変化  
※交通量調査(午前7時~翌7時(24時間)) 開通前:H25.10.2(水) 開通後:H25.10.17(木)

② 歩行者が安全に安心して歩けるようになりました! 【普代小学校先生の声】

これまでは、歩道脇を大型車が通過する際に危険を感じていましたが、国道45号の大型車交通量がだいぶ減り、通学している児童が安全に安心して通学できるようになりました。



※ヒアリング調査より

## 【三陸沿岸道路 普代道路の事業概要】

- 工事期間: 平成12年度~平成25年度
- 延長: 4.2km
- 総事業費: 約156億円
- 幅員: 12m